

どちらを使えばいい？

名古屋市の



# “こども誰でも通園制度”と“一時保育”



Q 「こども誰でも通園制度」ってどんなときに使える制度なの？

Q1. 0歳6か月から満3歳未満のお子さんがある？

いいえ

はい

Q2. お子さんは保育園やこども園などに通園している？

はい

対象外

0歳6か月から満3歳未満で保育所等に通っていない子どもが対象です。

Q3. 今の考えに近いのはどっち？

A

B

- 子どもに園での集団生活を経験させたい
- 子育てについて相談できる場が欲しい

- 仕事や用事、体調不良の際に子どもを預けたい
- リフレッシュする時間が欲しい

## “こども誰でも通園制度”

- 子どもに集団生活や新しい経験の場を提供する。
- 保護者に子育てに対する助言や支援を行うことを目的とした制度です。

子どもの育ちを応援し、保護者の相談・つながりも支える制度

## “一時保育”

- 保護者の事情により、家庭での保育が困難な際に一時的に子どもを預かることを目的とした事業です。

保護者の身体的・心理的負担の軽減のため、用事や仕事のときに一時的に預けられる制度

### こども誰でも通園制度や一時保育の利用例



◦ Aさん

「もっと他の子どもたちと交流させたい」

同じ年ごろの子ども同士との交流が少なく、社会性が育っているか不安

こども誰でも通園制度の利用

専門的な視点の保育で心の発達が促進されます。



◦ Bさん

「育児と家事のことで頭がいっぱいで疲れた」

育児と家事に追われて、精神的な余裕がない。心に余裕をもって子どもに向き合えない。

こども誰でも通園制度の利用

一時保育の利用

専門家に育児のことを相談でき、子育ての負担感が軽減されます。



◦ Cさん

「通院する必要があるが、子ども連れていけない」

保護者の立場からの必要性に対応して、子どもを預かります。

一時保育の利用



◦ Dさん

「育児に不安はないけどたまには1日育児から離れてリフレッシュしたい」

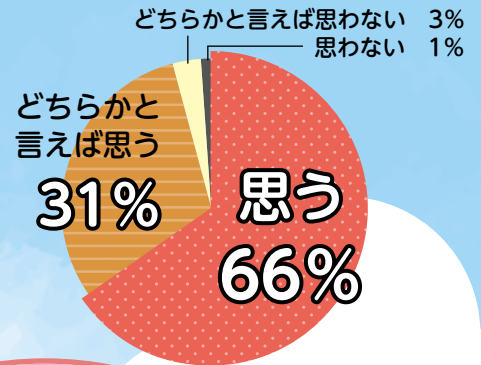
1日単位で子どもを預かり、新たな気持ちで子どもと向き合えます。

一時保育の利用

# “こども誰でも通園制度”を 利用した保護者の声



子どもの育ちが応援されたと思えましたか？



## アンケート結果

「こども誰でも通園制度」を利用して子どもの成長や育ちが応援されたと思えましたか？のアンケートでは、「**思う**」、「**どちらかと言えば思う**」が97%となっています。

多くの保護者が、家庭だけでは得られない経験を通じて子どもの成長が促されたと感じています。お子さんに表われた良い変化はありますか？の質問では、「保護者以外の人と過ごせるようになった」「子どもが新しいことに取り組む機会が増えた」「施設で覚えていろいろな遊びをするようになった」の回答が多くありました。

## 実際の利用者の声

家では食べたことがない食べ物を給食で完食してきたり、添い乳&抱っこでしか寝たことのない娘がみんなと同じように寝たり、手の洗い方を覚えてきたりと、成長をととても感じられました。



新しいもので遊ばせてもらったり、靴で歩けるようになったり、成長を感じるのので、自分のためでなく、子のために通園したいと考えが変わりました。



上の子を保育園で見てもらっている間、下の子と過ごす時間が出来たり、ほっと心休まる時間を確保できて、育児をより楽しむことが出来るようになりました。



親族以外に、近所に知り合いが特になく、園という場所を通じて人とのつながりを持って、育児をしている中での孤独感も大きく軽減されました。



上の子が保育園の慣らし保育で急な環境の変化にかなり困っていたので、月10時間から少しずつ園に慣れていってくれているのは大変ありがたいです。

